

あかぼこ山



Vol. 105

2025 年

4 月 15 日発行

発行元

特別養護老人ホーム カントリービラ青梅

(住所) 青梅市長淵 1 丁目 930 番地 3

(電話) 0428(23)6233 ≪9:00~17:00≫

(Fax) 0428(24)7047

(URL) <https://country-villa.com/>

ごあいさつ

冒頭から暗い話題ですみません。自宅近所のスーパーのカット野菜のパックですが、1年前は90円でしたが半年前は128円、最近は178円に。ガソリンスタンドの表示もいつの間にやら1リットル170円を超える金額になっています。先日、当施設の厨房業務を委託している業者から眩暈のするような値上げの申し入れがあり、当施設の自慢の一つの産直のお米を入れて頂いている農家の方からも…。物価高騰が止まりません。一方介護保険施設は国が決めた介護報酬額で3年ごとに改定がありますが、その間は勝手に引き上げることはできません。特別養護老人ホームでは昨年度の改定で2%の引き上げがありました。つまり4年前の水準からの2%UPです。それも決して十分とは言えない介護職員の手当の引き上げという用途限定のもの。そこに来てのこの物価高騰「厳しい」の一言です。国が「令和6年度の予備費を使って医療・障害・介護事業者等に補助」を指示する旨の事務連絡を地方自治体に出したことをうけ市役所に物価高騰支援の要望を行いました。実際に国からお金が出るわけではないので簡単には応じられないとのことでした。(区部も含め他の自治体もおおむね同様だそうです。)物価が高騰するということは市中の人件費も全体的に上がっていくということ。これからさらなる物価・人件費の高騰が続いたらと思うと気が気ではありません。



お散歩クラブ

3月14日に青梅市にある吉野梅郷にお散歩に行ってきました！

春の陽が降り注ぐ穏やかな青梅市梅の公園ではようやく咲きそろい始めた梅の香りを求める人達が多く訪れていました。身障者用駐車場から梅酔橋を渡り日本庭園まで来てそこでひと休み。ノンアルコールビールやコーヒーと桜餅やイチゴプリンを食べ、ゆったりとした時間が過ごせました。久しぶりの酔わないビールの味に「雰囲気を感じられていいな。」「酔わないビールだけどうまいよな。」「(桜餅)美味しいね。」そして「若いころは〇〇をしていたんだけどね」と昔話にも花が咲き笑顔があふれていました。それから坂道を登ったところにある東屋まで行くと山の中腹、梅の公園全体が見渡せます。梅や蟬梅のほか水仙の黄色い花を満喫される中「一生の思い出。こんなに梅の見えるところに連れてってもらえて。忘れないよ。」と感慨深げにおっしゃる方もいらっしゃいました。皆様それぞれの思い出ができたようです！

平成21年に国内で初めて梅輪紋ウィルスが確認され、平成26年には公園内全ての梅の木が伐根される事態になりました。その後平成28年に再植栽が開始され(～令和3年)ようやく今の姿になりました。かつては関東でも有数の梅の公園として多くの観光客が訪れていた青梅の梅の公園。往時にはまだまだ至りませんが、これからも毎年たくさんの笑顔があふれる場所になってほしいですね！



お散歩クラブ



手工芸クラブ

手先を動かすことによる認知機能低下の防止として、手工芸クラブでは塗り絵と刺し子を行いました。

塗り絵をしていたお客様は、「難しいね、どれ塗ろうかしら?」「わ～、こんなの初めてです。」と話され塗るのに苦戦されながらも積極的に取り組まれていました。刺し子を行っていたお客様は、「針は危ないけど、楽しいわね。」と塗り絵よりも刺し子が楽しかった様子でした。



生け花クラブ

季節のお花を楽しめる生け花クラブ。「やっぱり楽しいね」「これは何のお花?」とお話されていました。前回も、生け花をしたのでやはり慣れているようで、立派な生け花ができたようです。感性を表現することは難しいことだと思いますが、空間の把握や頭・手の体操にもなるのでしょうか?

皆様とてもいい表情をされています! 次回が生け花も楽しみです。



介護サービス第三者評価について



質の高い福祉サービスを事業者が提供するために、保育所、指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、障害者支援施設、社会的養護施設などにおいて実施される事業について、公正・中立な第三者機関による専門的・客観的な立場からの評価を受ける仕組みが、福祉サービス第三者評価です。当施設では「全体評価」と「利用者調査」を1年ごと交互に実施しております。今年も11月から評価機関による評価が実施されました。結果については当紙面に掲載するにはボリュームが多いため、当施設ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。評価結果の中で一番がっかりしたのはお客様からの食事面での満足度について、前回調査時がほぼ80%の方に「満足」を回答して頂いておりましたが、今回は半分の約40%に止まってしまいました。おそらく前回ユニバーサルデザインフードへの取り組みを開始し、そこで大幅に向上した満足度が、1年を経過し定着した（慣れた）ため満足度の要因として捉えられなかったのではないかと考えております。また施設サービス計画についての認知度が低いことも挙げられているなど、まだまだ改善の余地があるというのが実感です。皆様からも忌憚のないご意見等お伺いできれば幸いです。

介護の種まき

介護人材対策の一環として、3月19日に都立多摩高等学校1年生を対象に介護の仕事を知ってもらうためのイベントを行いました。今年から始まった青梅市と市内の介護事業者との協働での取り組みですが、青梅市老人福祉施設長会として「意外と知らない介護の仕事のこと」というテーマでコーナーの一つを担当しました。5クラスが5つのコーナーを10分ごとに回っていくというスタイルでしたので、ディスプレイに表示されたパワポにそってプレゼンをしていきました。他の4つのブースが体験系であるのに対し「説明系」は私だけ。当初から不安はありましたが最初のクラスで「これはマズイ…」生徒さんたちがほぼ無反応、慌てると話も脱線し説明も終わらないまま10分が終わりました。そこで急遽方針変更、パワポはところどころ触れる程度にして出来るだけ生徒さんに話しかけるような形に。「平成の頃は学校の教科書で『介護の仕事は低! 賃! 金!』と書いてあり、皆さんのご両親も『介護の仕事は低! 賃! 金!』と習ってきたはずです。ホントですよ。（そばにいた担任教師がウンウンと頷いていました。）だから例えば皆さんが介護の仕事をしたいとご両親に話せば『ダメダメ、介護の仕事は給料が安いから。』ときっと言われるハズです!」といった具合。また『「幸せに生きる為の条件」を知っている人! はい、そこのあなた!』といきなり無茶ぶりの質問をぶつけるなど生徒さんには随分迷惑なコーナーになったかと思ひます。（マイクが無くざわざわした体育館でのことでしたので声はすっかり枯れてしまいました。）イベント後に青梅市が生徒さんの行ったアンケートでは「今回も授業で印象に残った・ためになったブースは?」で17%の方から支持して頂きました。また全体として65%の方が「介護の仕事のイメージが変わった」、57%の方が「介護の仕事について良くわかった」、28%の方が「介護の仕事に興味がわいた」（41%の方が「やや興味わいた」との反応がありました。この取り組みの目的は直接の人材確保ではなくあくまで「種まき」。実り豊かな結果につながることを期待しています。



施設からの連絡（ご家族様等向け）



👉「ご家族懇談会」を下記の日程で開催いたします。多くのご家族様のご参加をお待ちしております。

（日時）令和7年5月10日（土曜日）10:00～11:30

（場所）WEBにて行います。参加方法等詳細につきましては後日お知らせさせていただきます。よろしくお願いいたします。